

「白堊研究Ⅰ」（第1回）学習指導案

- 1 単元名 「ガイダンス・アイスブレイク」
- 2 本時の目標
 - ・「白堊研究Ⅰ」の授業内容を理解する。
 - ・今後の活動のために、まず、しっかりしたコミュニケーションをする。
 - ・活動内容を理解し、しっかり考えながら行動する。

3 本時について

（1）特徴

「白堊研究Ⅰ」で重視する点は、「ディスカッション」である。誰とでも議論できるようにすることが必要となる。よって、誰とでも話ができる環境をつくるため、早くからお互いの名前を覚え、話せるようにする。話しかけることが苦手な生徒もいるので、「話し方」を限定する。議論においても、話し方の型を持っていれば、どの状況でも話せるはずである。「話し方」もただ固いだけではなく、柔らかい部分を作った方が、話を広げやすくなる。

（2）授業に当たって

「指示事項」は、与えすぎてはいけない。考えて行動できる範囲で与える。そのための、指示の量の研究をする。また、十分な活動がなされたか、随時、評価が必要である。十分に活動がなされていないとき、「問題」は、「生徒」か「指導法」か評価する。

4 準備・資料

プロフィールカード、記録用紙（A4）、マッキー（配付）、筆記用具（生徒）

5 展開

過程	学習活動	指導内容および留意点
導入 12分	・担当者とコミュニケーションをとる。 ・SSHの概要を理解する。 ・「白堊研究Ⅰ」の授業内容を理解する。	・時間前に教室に入り、配付物を配付する。 ・始業開始のチャイムが鳴り終わったら、号令をかけさせ、開始する。 ・担当者の紹介をする。（3分） 今日の「白堊研究Ⅰ」の担当の〇〇です。 ※教科、部活動等簡単に紹介する。 ・「SSH 概要」を説明する。（4分） ・「白堊研究Ⅰ」について（生徒配布）を利用して説明する。（5分） ※時間は、きっちりコントロールする。
展開 (1) 観察 15分	○アイスブレイク 「好きな色が同じ人と何人出会える？」 ・「プロフィールカード」作成する。 ・活動内容を理解する。 ・「シナリオ」を記録用紙に記載する。	・説明① 「この授業は、ディスカッションの技術を身に付けることも、目的です。そのためにも、話しやすい雰囲気を作るのが大切です。そこで、数多くの人と、自己紹介をしてきてください。そのためのプロフィールカードを作ってもらいます。マッキーでできるだけ大きな字で書いて下さい。時間は5分間です。年組番、名前、振り仮名、出身中学、好きな事物。これは、スポーツ、食べ物、動物、何でも構いません。それから、得意科目、好きな色です。色のところは見られないようにしてください。それでは、はじめてください。」 ・5分間計測する。 ・説明② 「これから『好きな色が同じ人と何人出会える？』というゲームをします。コミュニケーションゲームです。ルールの説明は1度しか言いません。ゆっくり説明しますので、記録用紙の裏側にメモをしながら聞いてください。あとで、質問等は受け付けます。まず、挨拶する人を見つけてください。そして、次のように声をかけます。ここは、正確にメモしてください。 『こんにちは、私は、〇〇が好きな△△（名前）です。』 〇〇には、プロフィールカードに記載した「好きな事物」が入ります。 声をかけられた人は、 『こんにちは、私は、〇〇が好きな△△です。』 と返します。つぎに、声をかけた人が、

		『私は、〇色が好きです。あなたは?』といい、カードを差し出します。答える人は、カードを出し、 『私は、〇色が好きです。』 同じ色だったときは、『イエー』と言いながらハイタッチをしてください。 違う色だったときは、 『ありがとうございました。またお会いしましょう。』と言って別れます。シナリオ通りに会話してください。 どちらの場合でも、その後、記録用紙に『〇〇好きな〇〇さん。〇色』と記録してください。後で、その用紙は使いますので、誰が見ても、分かりやすいように記録してください。これをできるだけ多くの人と行い。一番おおく、コミュニケーションをとった人が勝ちです。 そのため、記録用紙も、記録しやすいように準備してください。また、5分間時間を空けます。その間、質問も受け付けます。まず、記録用紙にクラス、番号、名前を書いてください。それでは、はじめてください。」 ・5分間計測する。また、質問を受け付ける。 ※「全部説明してほしい」要望があったら、その通りにする。 ※試験ではない。コミュニケーションゲームである。 「それでは、これから20分間で数多くの人と出会ってきてください。はじめ。」
展 開 (2) 発表 20分	・グループ活動・記録	・20分間計測する。 ・生徒の輪に入って、シナリオ通りの会話がなされているか確認する。 ・記録をとっているか確認する。 ・コミュニケーションがうまくいっている生徒、うまくいっていない生徒を確認し、今後の参考にする。 ・15分たったら「5分前です。」 ・20分経ったら「終了です。席に戻って、記録用紙を整理してください。」
まとめ 8分	・みんなの結果を確認する。 ・優勝者をたたえる。 ・自己評価をする。 ・提出する。 「プロフィールカード」「記録用紙」 ・礼儀正しく挨拶する。	・説明③ 「それでは、結果の確認をしましょう。10人以上の人は手を挙げてください。20人以上の人は手を挙げてください。」 優勝者を挙手によって探してください。確認できたら、 「それでは、立って、自分の名前とあいさつできた人数を自分で言ってください。」 生徒が答えたら、復唱をしてください。 「〇〇さん、〇〇人達成です。優勝者に拍手。」 「おめでとうございます。みんな、たくさん友達できましたね、これから、1年間、協力し合う仲間です。よろしくお願いします。」 「記録用紙の裏側の今日の授業の自己評価をして下さい。」 (終わったのを確認する。) 「では、カードと記録用紙、マッキーを回収します。列の後ろから1番と2番目の人が協力して、回収してください。」 回収。時間が来たら「では、終わりにします。次回は、簡単なテストを行います。勉強は不要です。着席して待機してください。」 「以上で、授業を終わりにします」(号令)

1年組番	1年組番
ふりがな 名前	ふりがな 名前
出身 中学	出身 中学
好きな事物	好きな事物
得意な科目	得意な科目
好きな色	好きな色

1年組番	1年組番
ふりがな 名前	ふりがな 名前
出身 中学	出身 中学
好きな事物	好きな事物
得意な科目	得意な科目
好きな色	好きな色

記録用紙

(裏はメモ用紙として使用)

1 年 組 番 名前 _____

挨拶した人数	人	好きな色が同じ人数	人
--------	---	-----------	---

<メモ用紙>

<自己評価票> 該当する数字に○をつけて下さい。

・積極的に活動できましたか？	できた	5	4	3	2	1	できない
・記録用紙は見やすく書けましたか？	書けた	5	4	3	2	1	書けない
・この授業内容は有意義でいたか？	有意義	5	4	3	2	1	無意味

<教員評価> ※生徒は記載しない。

評価①		評価②	
-----	--	-----	--

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】＜教員用＞

①ガイダンス・アイスブレイク

1 年（ ）組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・ 時間通りできなかった。		
要 因		
・ 指示がうまくいかなかった。		
要 因		
・ 生徒が積極的に動かなかった。		
要 因		
・ その他の問題点		